

決まった会社

業種：メーカー 所在地：東京

選考フロー

4月19日 会社説明会（グループディスカッションあり）

4月19日 ES、履歴書提出

5月9日 1次面接

5月15日 2次面接

5月20日 最終面接

5月21日 内々定（5月終わり）

使用したサービス

リクナビ、マイナビ、Offerbox、キミスカ

就活の流れ

<～2017年9月> 当初の考え

私は2017年9月から長期のインターンシップをしましたが、それまでは、ぼんやりと将来は地元に戻りたいと考えていました。地元に戻る手段として、そこそ給料のいい公務員か銀行かなと考えていました。そんな中で地域活性化にかかわる長期インターンシップを見つけ、実際に地域にかかわることで自分の将来に関してもイメージできるのではないかと考え、休学して長期インターンシップをすることに決めました。

<2017年9月～2018年4月> 長期インターンシップでの心境の変化

実際に長期のインターンシップに参加してみて、大きく2つの気づきがありました。

1つ目は自分の得意なことと苦手なことです。実際に働く経験をする中で、これはできること、これはできないことというのがはっきり見えてきました。大学ではできてもできなくても大体のことは何とかありますが、何ともならないことがあることをここで学んだような気がします。

2つ目は自分の心に従って生きることが一番だということです。それまではなんとなく良さそうなことや、安定（していそうなこと）、周りがやっていることが無意識のうちに行動の基準になっていることがありました。しかしそれでは何か壁にぶつかったときにそれを言い訳にして壁を越えられずに諦めてしまう気がします。そして自分の心に従って決めたことでないとやはり続かないと思います。

これらの気づきあって、では実際にどのような仕事がしたいか、自分が得意なことは何か、どう生きていきたいかということを考えるようになりました。

<2019年1月～2019年2月> 就活準備

3つほど合同企業説明会に参加しました。そのとき興味があったフィットネス業界の合説、地元企業も来ていた仙台の合説、マイナビ主催の東京での合説です。この時はまだ業界等も絞り切れておらず、幅広くいろいろな企業を見ていました。その中で長期インターンの時に考えていたことを思い出し、自分のしたいことをああでもないこうでもないと考えながら言語化していきました。

<2019年3月～> 会社説明会→選考

12社ぐらいESを出し、8社ほど説明会に参加しました。面接に進んだのは6社ぐらいだったと思います。最終的には規模は大きくないにしても、海外展開もしており面白そうなことができそうな今の会社に決めました。

就活の軸

多くの人と関わり刺激を受けることができる

新しいチャレンジができる

自分も面白いと思えて、人にも面白いと思ってもらえる仕事

技術力

プレゼン、人間関係の構築

就活を振り返って

人には人の就職活動

世の中にはいろいろな会社があって、就活生の会社の選び方も人それぞれなので、正解はないと思います。本人が納得できるのであればそれが1番大事なので、周りに流されず自分で決めるといいと思います。もし今のところやりたいことがないのであれば、これまでの経験から自分の好きなこと、得意なこと、やってみたいことなど、ゆーっくり考える時間を作ってちゃんと自分と向き合う時間を作るといいと思います。それでもわからなければ、目についたもの、気になったもの、誘われたもの、全部やってみたら何か見えるのではないかと思います。考えても答えの出ないことをずっと考えても答えは出ないので、ほかの方法を試すのが大事かなと思います。

加えて、最初に就職する会社も大事ですが、それで人生が決まるわけではないので、あまり思いつめる必要はないかと思います。働いたことがないのに会社を選ぶのはとても難しいし、働き始めたら思っていたのと違うことも多いと思うので、とりあえずやってみるといいかなと思います。